

事業計画および成長可能性に関する事項

アップコン株式会社



目次

01. 会社概要

02. 市場環境

03. 優位性

04. 成長戦略

目次

01.	会社概要
02.	市場環境
03.	優位性
04.	成長戦略



企業名	アップコン株式会社	
本社所在地	神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611	
事務所一覧	札幌事務所	北海道札幌市中央区北2条西2丁目3-2
	仙台事務所	宮城県仙台市青葉区本町1丁目12-12 GMビルディング3階
	名古屋事務所	愛知県名古屋市中区丸の内3-7-26 ACAビル5階
	大阪事務所	大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番5号 南船場SOHOビル702
	福岡事務所	福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階
代表者	松藤 展和	
設立	2003年6月	
資本金	7,325万円	
上場市場	名古屋証券取引所ネクスト市場	
証券コード	5075	
従業員数	47名（2025年3月現在）	
事業概要	事業概要 土木工事業 ■コンクリート床スラブ沈下修正工法【アップコン工法】 ■ウレタン製土壌改良材【ナテルン】 ■農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法【FRT工法】 上記工法の施工・施工管理および販売ウレタンを使った新技術の研究・開発 特許保有件数 国内11件 海外9件	

※各事務所には従業員の配置はありません。お問い合わせ専用電話の設置になります。

基本理念

健康第一 安全第一 家庭第一

経営方針

スピードと環境を重視した経営を行い、社会貢献度の高い研究・開発型企业となることを目指します。

健康経営の取り組み

技術部社員による自社施工を強みとしている当社は、人員の確保やチーム全員が万全な態勢を整えておくことは会社の経営にとっても重要な課題です。

「社員の健康は、経営の安定・企業価値を向上させる」ととらえ、社員の健康を推進するために様々な取り組みを実施しています。



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門
ブライツ500

9年連続で「健康経営優良法人」に認定

< 取り組み例 >



健康活動倶楽部の発足

アップコンの健康活動を牽引するプロジェクトチーム「健康活動倶楽部（通称：健活倶楽部）」を立ち上げ、体力の向上・メンタルケアなど様々な健康活動を企画・実行しています。



非喫煙宣言

就業時間内の喫煙を禁止・就業時間外も禁煙を推奨しています。2015年の喫煙者は14名でしたが、2023年には0名になりました。



健康活動はすべて**就業時間内**に実施



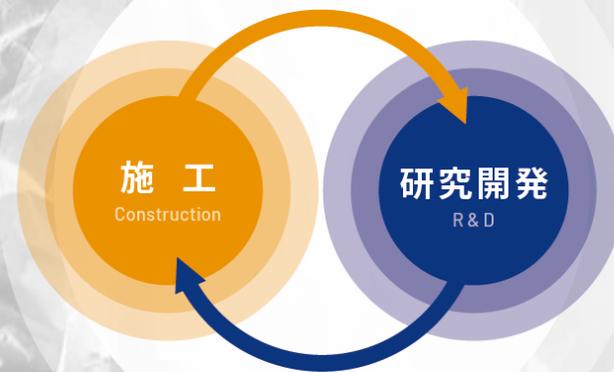
沿革

- 2003年6月 ● アップコン有限会社を設立
- 2004年2月 ● アップコン株式会社に組織変更
資本金1,000万円に増資
- 2005年11月 ● ISO9001認証取得
- 2006年2月 ● 資本金2,000万円に増資
- 2007年4月 ● 資本金3,000万円に増資
- 2008年7月 ● ISO14001認証取得
- 2008年9月 ● 資本金3,500万円に増資
- 2010年1月 ● 資本金3,800万円に増資
- 2017年2月 ● 資本金4,300万円に増資
- 2017年5月 ● ISO27001認証取得
- 2021年7月 ● 東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場
- 2022年12月 ● 名古屋証券取引所 ネクスト市場に上場**
資本金1億188万円に増資
- 2023年4月 ● 資本金7,000万円に減資
- 2023年5月 ● 資本金7,325万円に増資

アップコンはウレタン樹脂を使った施工、 および研究開発で事業展開しています。

当社は、工場・倉庫・店舗（商業施設）や、一般の住宅などの建物において、地盤の不同沈下を原因として生じたコンクリート床の沈下・傾き・段差・空隙を完全ノンフロンのウレタン樹脂、および小型機械を用いた独自の「アップコン工法」によって修正する施工を主力事業として展開しております。

また、新たな事業展開推進のため、多数のプロジェクトを進行させ、硬質発泡ウレタン樹脂の新規応用分野への研究開発に取り組むことで、自ら市場を創りながら事業を開拓していくサイクルを目指す研究開発型企業を目指しています。

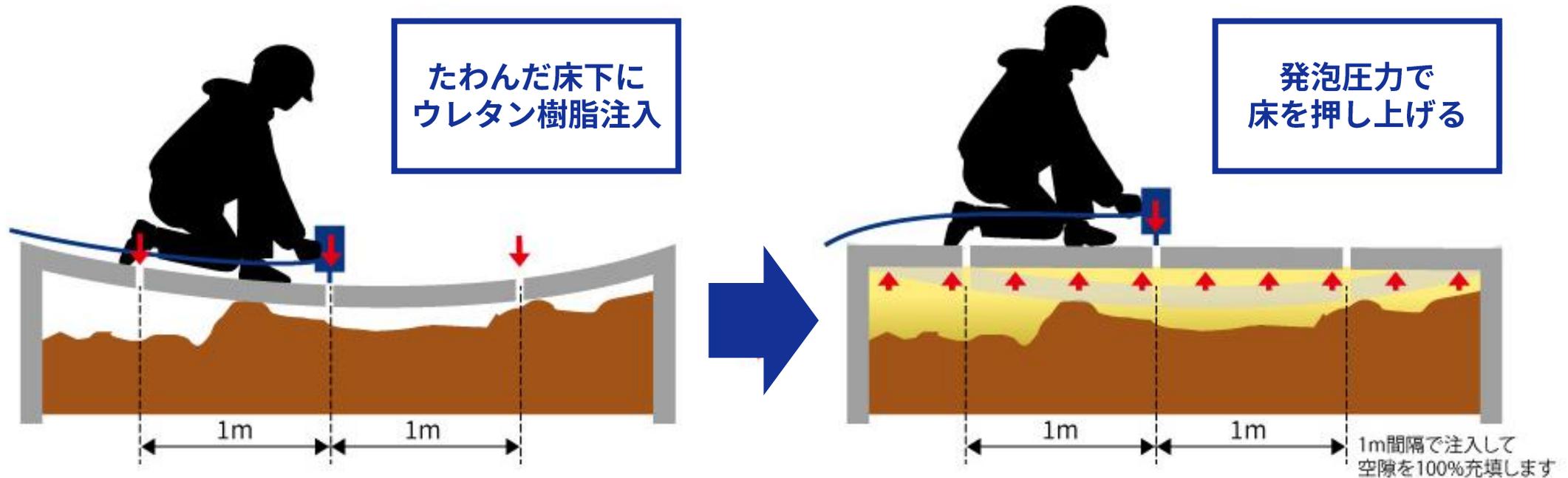


新市場の創出
Creation of New markets

アップコン工法

【コンクリート床スラブ沈下修正工法】とは

沈下・段差・傾き・空隙などが生じた既設コンクリート床に、1m間隔で直径16mmの小さな穴を開け、ウレタン樹脂を注入します。ウレタン樹脂は、短時間で発泡し、その圧力でコンクリート床を床下から押し上げて傾きや段差などを修正します。ウレタン樹脂の注入は、既設コンクリート床の高さを計測機器で常時ミリ単位で監視しながら行い、樹脂の最終強度は約60分で発現します。床下に空隙が発生している場合、同じ方法でウレタンを注入、ウレタン自らが発泡する特性によって、狭い隙間でも入り込み空隙を充填することが可能です。



01.会社概要【沈下修正セグメント】

民間事業・公共事業のセグメントで沈下修正を行っております。



民間事業

- ・コンクリート床スラブ沈下修正工法
(アップコン工法)

引越し不要、操業・業務を止めない工法。
工場・倉庫・店舗（商業施設）・住宅など、
日本全国および海外での沈下修正工事を行います。

**工場・倉庫・店舗（商業施設）・住宅・
事務所/海外施工等**



公共事業

※公共インフラ系

- ・コンクリート舗装版補修工法
- ・農業用水路トンネル機能回復加圧式
ウレタン充填工法 (FRT工法)

高速・一般道路、空港・港湾など日本全国の
沈下修正および空隙充填工事を行います。
農業用水路トンネルの維持・補修工事を行います。

**道路・農業用水路トンネル・空港・
港湾・学校・自衛隊施設等**

目次

01.	会社概要
02.	市場環境
03.	優位性
04.	成長戦略



沈下修正市場規模（民間事業・公共事業）

住宅



工場・倉庫・店舗



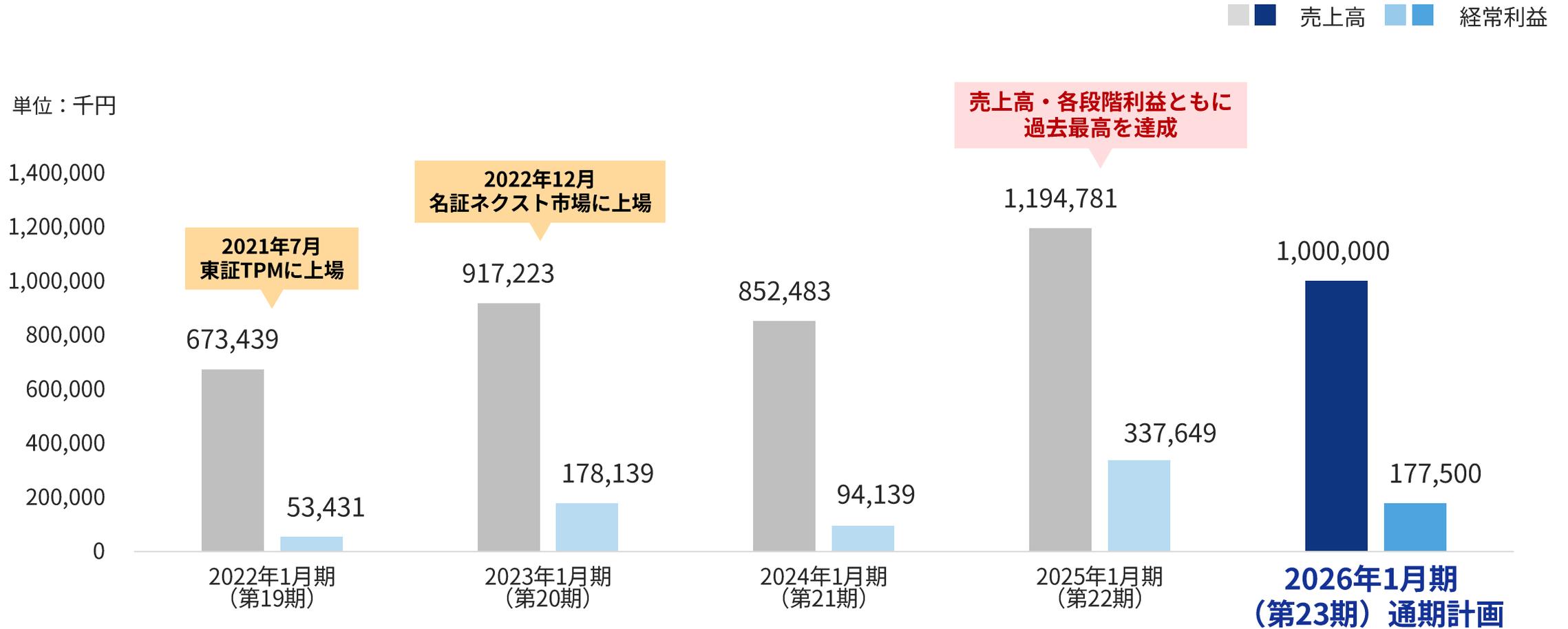
道路



※1 建設関連業等（国土交通省）の資料に基づき、当社独自に算定

※2 東・中・西日本高速道路の更新計画について（NEXCO東日本）に基づき、当社独自に算定

02. 売上高・経常利益の推移



【沈下修正事業における市場シェアの拡大】

上場前は売上高6億円をベースにシェアを獲得していたが、直近では売上高8億円をベースにシェアを拡大している。1億円以上の大口受注や自然災害により売上が大幅に伸びる傾向がある。

目次

01.	会社概要
02.	市場環境
03.	優位性
04.	成長戦略

1.短工期

コンクリート打替え工法



10日以上

アップコン
工法

アップコン工法なら、工期1/10!

※モデル施工条件
面積:100~150㎡、
コンクリートスラブ厚:150mm、
最大沈下量:50mm前後

わずか1日

アップコン工法 特長

2.操業を止めない



3.高い技術力



4.施工がコンパクト



1.短工期

工期は従来工法の1/10

アップコンのウレタン樹脂を使用した施工は既設のコンクリート床の取壊しや養生期間を必要としないため、従来工法と比較し大幅な工期の削減を実現します。



2.操業を止めない

操業・業務を止めずに短時間施工が可能

既設コンクリート床の取り壊しをせず修正するため、機械、ラック、荷物の移動が不要。操業を止めずに施工が可能です。操業を止めず、短工期で修正することでトータルコストの削減に貢献します。



3.高い技術力

100%自社社員による責任施工

徹底した教育を受け、経験を積んだ自社技術スタッフが責任施工。
精度の高い仕上がりでお客様のお悩みを解決します。



4.施工がコンパクト

速やかに現状回復が可能

アップコンは資機材一式を搭載した施工プラント車で全国へ
伺います。建物の出入り口付近に施工プラント車を配置し施工を
行うため、大型プラントの設置、撤去が不要です。



従来工法と比べCO₂排出量を 90.2%削減

従来工法と比較して工事に必要な材料調達から、施工過程、工事終了後の産廃リサイクル等までのライフサイクルCO₂排出量を90.2%削減できます。

- ・施工条件：面積1,000m²、コンクリートスラブ厚150mm、最大沈下 -70mm
- ・環境専門コンサルティング算出



環境に安全な材料を使用

完全ノンフロン硬質発泡ウレタン樹脂を使用

アップコン工法で使用する硬質発泡ウレタン樹脂は、国内の製造メーカーと共同開発したフロン・代替フロンを発生しない完全ノンフロンのウレタンです。成形後、水や海水、土中に含まれる他の物質に対して溶融しないため、土壌汚染を起こさず環境に安全な材料です。



目次

01.	会社概要
02.	市場環境
03.	優位性
04.	成長戦略



新中期経営計画目標

01

シェア拡大

次なる株式市場に向けた
沈下修正事業のシェア拡大



02

研究開発

新規事業化に向けた
研究開発への取り組みを強化



03

社内DX化

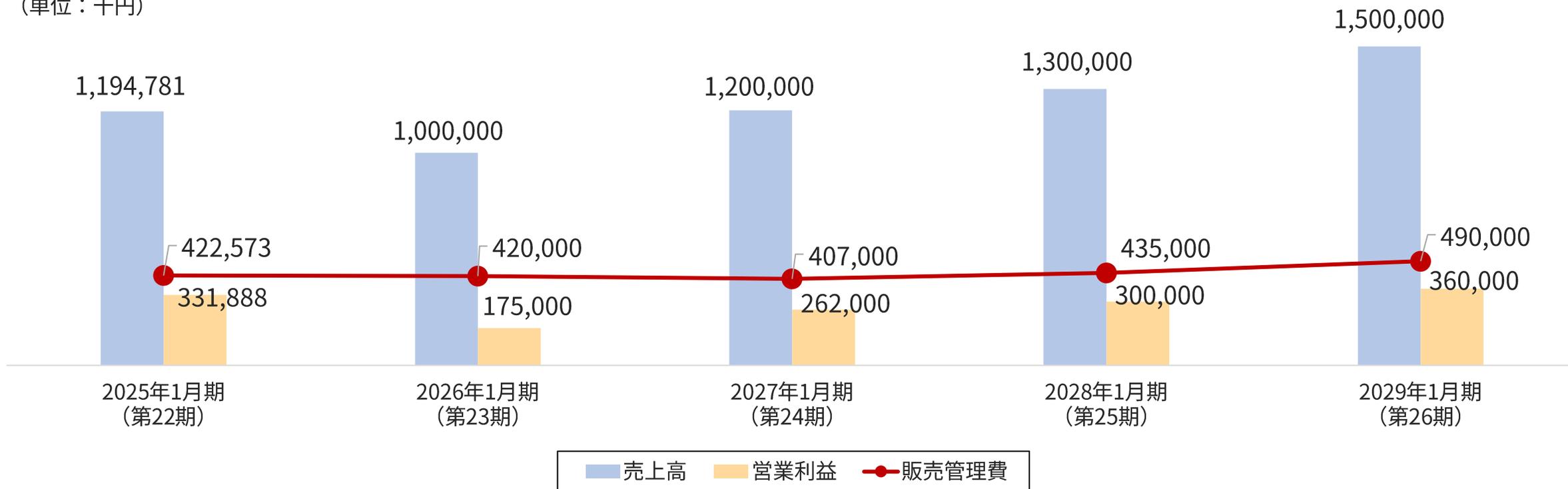
営業力強化に向けた
社内システムDX化



2029年1月期（第26期）に売上高15億円を目指します

沈下修正工事を主な事業とする当社の2026年1月期の事業環境は、民間および公共の両分野で需要の増加が見込まれるため、営業力を強化し、知名度および認知度のさらなる向上を目指した営業施策を実施してまいります。

(単位：千円)



事業重点エリア

▶リピート促進エリア

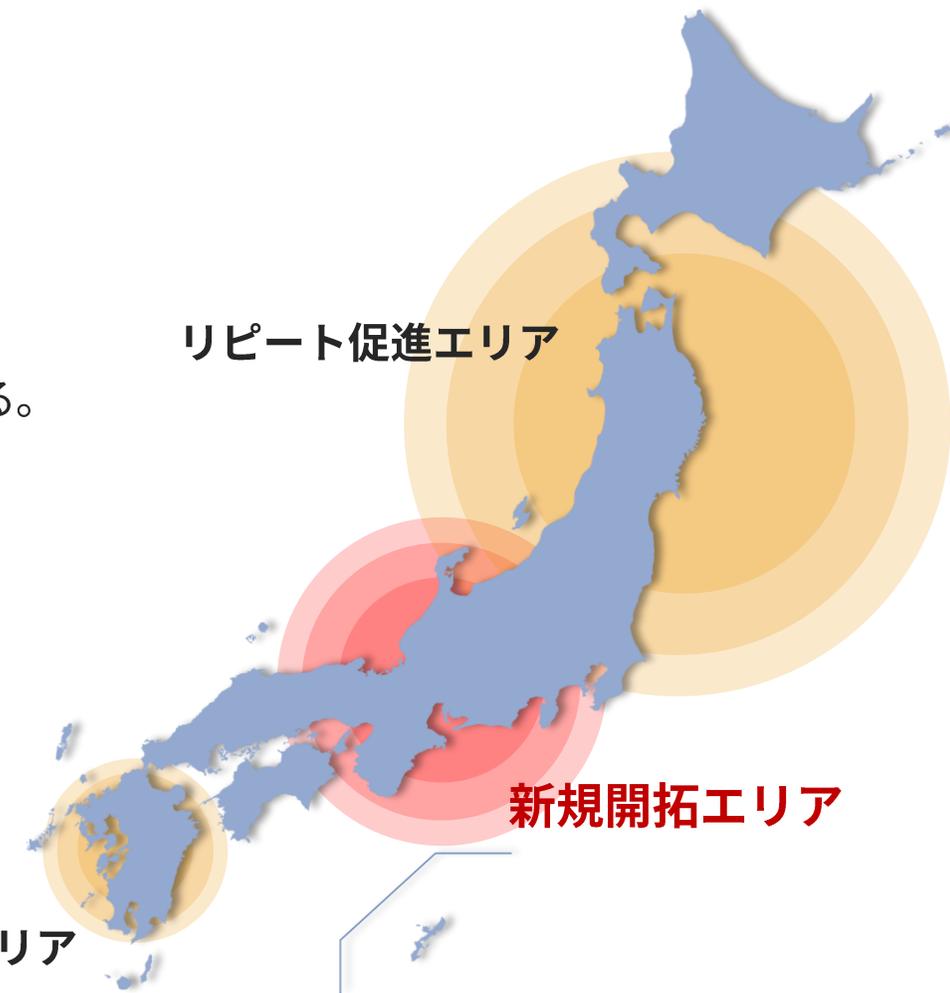
豊富な施工実績を基盤とした売上拡大戦略：

長年の事業活動を通じ、豊富な施工実績と顧客データを蓄積している。顧客との強固な信頼関係を構築し、リピート率向上施策に注力することで、安定的な売上増加を目指す。

▶新規開拓エリア

名証上場を契機とした中部・近畿地方での事業拡大：

名証上場を機に、中部地方および近畿地方における事業展開を強化。積極的な営業活動を通じて、当社の認知度・知名度向上を図り、シェアの拡大を目指す。



営業部員の増員



- ・ 営業力強化のため営業人員を増員

デジタルマーケティングの強化



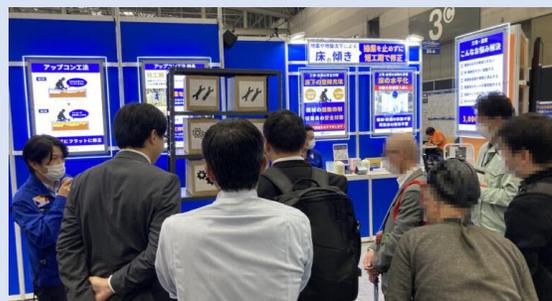
- ・ Webコンテンツの拡充
- ・ SEO対策強化

調査無料キャンペーンの拡大



- ・ 現地調査を無料で行う調査無料キャンペーンの実施

展示会出展



- ・ 新規リード獲得に向けた積極的な展示会出展

新聞・雑誌広告の出稿



- ・ 認知度・知名度向上を目的とした広告出稿

グローバル展開

Lac Viet社(ベトナム) との連携を強化 当社の専属施工会社として新たに活動を開始

- ・ Lac Viet社(ベトナム) とのライセンス契約満了に伴い、当社が主体となって営業活動を行い、施工時は当社の専属施工会社として施工を行う体制を強化。
- ・ 北ベトナムから南ベトナムまで営業活動の拡大および展示会に出展。ベトナム全土への施工を目指す。
- ・ 年2回程度を目標に現地に向かい、日系コンサルおよび建設会社へのプレゼンテーションを行う。
- ・ ジェトロ本部海外展開支援課とも協議し、市場調査および現地日本法人との交流機会を増やし情報収集を行う。
営業担当者を配置し、営業力の強化を継続する。



研究開発プロジェクト

研究開発から早期事業化へ
(5つの研究開発プロジェクトが進行中)



研究開発プロジェクト発の新技術

コンクリート柱ウレタン強化工法 「頑強柱（がんきょうちゅう）」

「頑強柱」は、既設の3.5kNコンクリート柱の中空部に、補強用に開発した硬質発泡ウレタン樹脂を注入・充填することでコンクリート柱の破壊荷重を増加させ、自然災害時のコンクリート柱の倒壊を防ぐ工法です。

既設コンクリート柱を強化するため、撤去する必要がなく**短工期でコストを抑えながら国土の強靱化に貢献**できる工法です。



応急復旧工法「ダンタン」

応急復旧工法「ダンタン」は、震災時に被災して生じた道路の段差に、高強度ウレタン樹脂を吹き付けてスロープを作成し、応急的に走行を可能にする工法です。資機材一式を搭載したトラックで駆け付け、発生した段差に2液性のウレタン樹脂を吹き付けます。高強度ウレタン樹脂は、吹き付けた直後から硬化する性質を持っているため、**スロープ作成後15分で走行可能**になります。また、段差だけでなく不陸や陥没にも吹き付けて補修することが可能です。



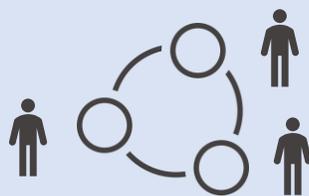
社内DX化の推進

DX推進プロジェクト

- ▶ 営業支援システムを新規導入
- ▶ 社内のDX化を推進



ヒューマンエラーの削減
帳票化の時間短縮



現場情報・
施工ノウハウの共有



データ管理体制の強化
機密情報漏洩の防止



経営判断に必要な
データの蓄積と分析

**業務負担を削減し、全社横断的に経営資源を活用
より効果的な営業活動を展開**

04. 成長戦略【リスク情報①】

成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクおよび対応策は以下の通りです。なお、その他のリスクについては有価証券報告書「事業等のリスク」に記載しております。

	リスクの内容	発生可能性	発生時期	影響度	対策
法的規制に関するリスク	当社は、建設業法に基づき、神奈川県知事の建設業許可を受けております。当社は許可の要件および各法令の遵守に努めていることから、許可の取消事由に該当するような事実はありませんが、法令違反等による許可の取消などの不測の事態が生じた場合には、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	大	▶ 当社は、各法令の遵守を徹底するため、各法令別に担当部署を決め、管理部と連携して法令に抵触しない運用を整備する他、関連法令等の改廃動向についても常に情報収集を行うとともに、適宜顧問弁護士と連携する体制を整備しております。
特定事業への依存に関するリスク	当社は民間地盤沈下修正工事を核とした事業を展開しております。さらに公共事業等の新たな事業を展開中であり、収益力の分散を図っております。しかし、事業環境の激変や類似工法の出現により当社工法のサービスが縮小し、その変化への対応が適切でない場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	大	▶ 新たな市場を創造する研究開発を行っております。事業化の目途が立ち次第、新たな市場にチャレンジをしております。また、お客様のニーズに応えるべくサービス展開を行い、優位性の拡充を図っております。
工期に関するリスク	当社は施工にあたって、原則として事前調査を行い、工事の工程を計画的に管理しておりますが、当初には想定されない問題が生じ、工事の着手後に工期が延長することによって、完成工事高や利益が翌期に繰り越されるなど、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	中	▶ 工期スケジュールおよび進捗状況を把握しリスクに対応しております。
クレームや重大事故に対するリスク	当社の沈下修正事業の施工において、技術、品質面での重大な不具合や人為的な事故、環境を要因とする事故等が発生し、その修復に多大な費用負担や施工遅延が生じた場合、あるいは契約の取り消しとなった場合には、業績や企業評価に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	中	▶ 当社では、ISO9001に基づくQMS（品質マネジメントシステム）およびISO14001に基づくEMS（環境マネジメントシステム）を導入・運用することで、全社的な品質管理と安全意識の向上を図っております。

04. 成長戦略【リスク情報②】

	リスクの内容	発生可能性	発生時期	影響度	対策
新規事業について	当社は硬質発泡ウレタン樹脂の新規応用分野への研究開発に取り組み、新たな事業を開拓してまいりました。今後も研究開発には特に注力して新規事業の開拓に努めてまいります。新規事業については事業計画を十分に検討した上で実施することにしておりますが、事業計画には予想や仮説に基づく部分も存在するため、当該予想や仮説が現実と大きく違った場合には、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	中	▶ 新規事業化の可能性が高い研究開発に優先順位を付け、集中投資を行っております。年度予算内で計画を実施し、プロジェクトごとに進捗度を月1回開催の経営会議および役員会にて報告・確認をしております。
新規参入によるリスク	当社の主な事業であるウレタンを使用した沈下修正事業はだれでも参入が可能な市場です。工法の技術の取得に数年を要するため、当社としては簡単に参入できないものと認識しておりますが、今後、当社と同様に沈下修正分野における豊富な知識と経験を有する人材を持つ企業が参入した場合には、当社の経営成績および財政状態に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	中	▶ 先行者優位を保つべく日々、研究および改善活動に努めております。また、得られた技術・工法は特許などを取得し、付加価値を高めてまいります。
原材料の仕入先について	当社は地盤沈下修正工事等を主たる事業としておりますが、その工事に使用する主たる原材料については、原材料を共同で開発した日本パフテム株式会社から仕入れる契約となっております。同社とは良好な関係を築いており、同社に倒産、製造中止等の事情が生じた場合は、他社に製造・販売を委託できる契約となっておりますが、当社の施工、および業績に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	中	▶ 他の取引先でも十分対応が可能との調査を常に行っております。また候補先も選定しております。
災害による業績変動リスクについて	地震等の災害によって道路をはじめとした社会インフラのほか、企業の生産・販売活動の拠点である工場、倉庫、商業施設や事業所、また、一般の住宅などに甚大な被害が発生した場合、一時的な復旧需要により、当社の業績に短期的に影響を及ぼす可能性があります。	中	常時	大	▶ 常に緊急事態に対応できる人員および機材を装備しております。

04. 成長戦略【リスク情報③】

	リスクの内容	発生可能性	発生時期	影響度	対策
大型案件による業績変動リスクについて	<p>当社のアップコン工法およびその応用技術を用いた工法は、民間事業・公共事業工事の両方で比較的規模の大きな案件を受注するケースがあります。</p> <p>当社では、今後もこのような規模の案件を受注する可能性があると見込んでおりますが、当社の工法は受注を受けてから完工までを短期間で施工する工法であり、期首の段階で想定できない大型案件(1件1億円を超える工事)の期中での受注の成否により、当社の業績に短期的に影響を及ぼす可能性があります。</p>	中	常時	中	<p>業績に影響を及ぼす事態が発生した場合には、速やかに適切な対応を行い、必要に応じて情報開示を行う体制を整えております。</p>
特定人物への依存について	<p>当社の代表取締役社長である松藤展和は「アップコン工法(コンクリート床スラブ沈下修正工法)」に関する豊富な経験と知識を有しており、経営方針や事業戦略の決定、重要な取引先との交渉等、会社運営のすべてにおいて重要な役割を果たしております。</p> <p>当社は今後優秀な人材を採用・育成することにより、同人に過度に依存しない経営体制の整備を進めてまいります。が、何らかの事情により同人が当社から離職した場合または十分な業務執行が困難となった場合には、当社の事業展開や業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>	低	常時	大	<p>優秀な人材の採用および育成を通じて、特定人物への依存を減らす努力を行っております。毎年3名以上の新入社員および中途社員を採用しております。</p>

将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、一般的な業外ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



アップコンは「ニッポン上げろ!」を合言葉に、
日本全国を足元から支え、
暮らしやすい社会に貢献していきます。